

平成27年度 西東京市立谷戸小学校 学校自己評価表

学校教育目標		<ul style="list-style-type: none"> ・元気で、粘り強い子 ・進んで学び、行動する子 ・心の豊かな子 							
目指す学校像（ビジョン）		<ul style="list-style-type: none"> ・子供の瞳が輝き、声が響き合う、幸せ追求の学校 ・将来を夢見て、よく考え、主体的に共同する健康な児童 ・創意工夫に満ちた授業の充実にも努め、子供の心に灯をともしことのできる人間力ある教師 							
本校の実態と課題		<p>①若手教員が多数おり、児童理解とともに、学級経営や授業技術など教員の指導力の向上に取り組む。</p> <p>②児童の体力の向上は見られるものの、体力の2極化傾向がある。生活振り週間では、自己の生活を直視すきっかけになっている。保護者の協力を得て、自ら健康的な生活に向けて改善できるように健康教育や体力の向上に取組む。</p> <p>③全学級に特別支援が必要な児童がいる。児童一人一人を大切に授業を実施するとともに、特別支援コーディネーターやスクールカウンセラーを交えて個に応じた対応をする。</p> <p>④保護者・地域は大変協力的である。ホームページ等学校の情報を積極的に発信し、保護者・地域との連携を進め、開かれた学校を推進する。</p>							
		評価							
学力の向上	中期経営目標	短期経営目標	具体的方策	努力指標(評価基準)	年間	成果指標(評価基準)	年間	現況	改善策
	基礎基本の定着とともに、分かる授業・質の高い授業の実現に努める。	基礎・基本の定着を図り、自ら学ぶ力を育てる。	<ul style="list-style-type: none"> ・全員が考えをもち、考えを伝え合う話し合いや発表する場を全学級で設定する。 ・読書旬間、読書週間、朝読書、読み聞かせ等を活用して、各自が年間目標以上の本を読めるようにする。 ・全員が各学年で学ぶ漢字の読み書きができるようにする。 ・全員がペーシッドリルを活用して、計算を中心とした基礎的・基本的な知識・技能を確実に身につけるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 4 教職員の取組評価がA 3 教職員の取組評価がB 2 教職員の取組評価がC 1 教職員の取組評価がD 	4	<ul style="list-style-type: none"> 4 児童の達成度の評価A 3 児童の達成度の評価B 2 児童の達成度の評価C 1 児童の達成度の評価D 	4	<ul style="list-style-type: none"> ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業の中で、ペア学習やグループ学習を取り入れて発表の機会を増やし、学習内容の共有化を進めた。 年間をととて本に親しむことができた。家庭での読書も学級指導や図書便りによる啓発を繰り返したことにより、定着してきた。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後も取組を続けていく。意見交換を行う前に自分の考えをまとめるための時間を十分に確保し、理解を深めさせる。 本の内容、ページ数や文字数についての意識を高め、読書の質の充実を意識付けさせる。
人権教育	人権教育を充実させ、いじめや体罰の根絶に努める。	人権教育を充実させ、豊かな人間性の育成を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・日常からのあいさつ、感謝の言葉、言葉遣いを継続的に指導し、豊かな人間関係を作る。 ・いじめの未然防止、早期発見・早期対応に努めるとともに、学級力を子供と共に振り返りながら、安心した学校生活を送れるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 4 教職員の取組評価がA 3 教職員の取組評価がB 2 教職員の取組評価がC 1 教職員の取組評価がD 	4	<ul style="list-style-type: none"> 4 児童の達成度の評価A 3 児童の達成度の評価B 2 児童の達成度の評価C 1 児童の達成度の評価D 	4	<ul style="list-style-type: none"> 多くの児童が、教員から声をかけられるとあいさつを返してくれる。3学期は6年に加え、今年度より5年生もあいさつ運動に取り組んだ。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後も継続していく。登校時のあいさつ運動だけでなく、校内で会う授業担当者でない教職員に対しても、あいさつをする習慣を身に付けさせる。
	丈夫な体とたくましい心を育てる。	健康教育を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> ・元気いっぱいカード等の取組を年4回以上設定し、睡眠時間・朝ご飯・歯磨き・排便等、基本的な生活習慣の改善を図る。 ・食育の年間指導計画をもとに、各学年に応じた食育指導を推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> 4 全学年全学級で実施 3 実施率80パーセント以上 2 実施率60パーセント以上 1 実施率60パーセント未満 4 教職員の取組評価がA 3 教職員の取組評価がB 2 教職員の取組評価がC 1 教職員の取組評価がD 	4	<ul style="list-style-type: none"> 4 児童の達成度の評価A 3 児童の達成度の評価B 2 児童の達成度の評価C 1 児童の達成度の評価D 	4	<ul style="list-style-type: none"> 元気いっぱいカードの取組前には、養護教諭から各家庭にプリントを配布して協力を依頼するとともに、その成果を保健だよりで報告をした。 	<ul style="list-style-type: none"> 朝は保護者も慌たしいが、朝食を食べることの重要性が少しずつ浸透されてきている。今後も保護者への理解啓発を進めていく。
体力の向上		体力の向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・体力テストの結果から、重点項目を定め、汗をかく準備運動とともに楽しい体育の授業を展開し、児童の体力向上を図る。 ・学期ごとにジャンプアップ等を設定するとともに、外遊びを定期的に行わせ、児童の体力向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 4 教職員の取組評価がA 3 教職員の取組評価がB 2 教職員の取組評価がC 1 教職員の取組評価がD 	3	<ul style="list-style-type: none"> 4 児童の自己評価で、達成度90%以上 3 児童の自己評価で、達成度80%以上90%未満 2 児童の自己評価で、達成度70%以上80%未満 1 児童の自己評価で、達成度70%未満 	4	<ul style="list-style-type: none"> 汗をかく準備運動の推進のため、ランニング(周回走)・鬼ごっこ等、走る運動を日常化した。 	<ul style="list-style-type: none"> 中学生を対象に、年間計画の中にタグラクビーを採用し、楽しみながらも走る種目を増やす。
	一人一人を大切に、特別支援教育を推進する。	特別支援教育の充実にも努める。	<ul style="list-style-type: none"> ・個別指導計画・個別支援計画をもとに、児童一人一人を大切に教育支援を進めるとともに、ユニバーサルデザインを意識した授業を進めていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 4 教職員の取組評価がA 3 教職員の取組評価がB 2 教職員の取組評価がC 1 教職員の取組評価がD 	4	<ul style="list-style-type: none"> 4 保護者・児童の満足度の評価A 3 保護者・児童の満足度の評価B 2 保護者・児童の満足度の評価C 1 保護者・児童の満足度の評価D 	4	<ul style="list-style-type: none"> 昨年度に引き続き、冬養生期間中に長縄ジャンプアップを採用した。ウォーキングジャンプアップは万歩計を持ち帰らせ、校内のみの取組とした。 	<ul style="list-style-type: none"> 支援が必要な児童については、支援計画を立てながら指導することができた。授業では、ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業を実施した。
地域との連携	地域に開かれた学校づくりを行う。	安心・安全な学校づくりを行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・育成会・保護者・学校が分担してパトロールを行い、日常的に児童の安全を見守る環境を整える。 	<ul style="list-style-type: none"> 4 教職員の取組評価がA 3 教職員の取組評価がB 2 教職員の取組評価がC 1 教職員の取組評価がD 	4	<ul style="list-style-type: none"> 4 保護者・地域の方の満足度の評価A 3 保護者・地域の方の満足度の評価B 2 保護者・地域の方の満足度の評価C 1 保護者・地域の方の満足度の評価D 	4	<ul style="list-style-type: none"> PTAを中心に日常的に通学路の安全を見守ったり、地域安全マップを作成したりした。通学路の安全については、毎週木曜日に教員が見回りをしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 交通事故や自転車の乗り方については、児童だけでなく保護者に対しても、保護者会や生活指導だより等を活用して理解啓発を進めていく。
		地域に積極的に貢献する。	<ul style="list-style-type: none"> ・地域・保護者等外部人材の教育力を積極的に活用する。また、地域行事に関わり、積極的に参画する。 	<ul style="list-style-type: none"> 4 教職員の取組評価がA 3 教職員の取組評価がB 2 教職員の取組評価がC 1 教職員の取組評価がD 	3	<ul style="list-style-type: none"> 4 保護者・地域の方の満足度の評価A 3 保護者・地域の方の満足度の評価B 2 保護者・地域の方の満足度の評価C 1 保護者・地域の方の満足度の評価D 	4	<ul style="list-style-type: none"> 地域行事へは、学校教職員の積極的な協力により、複数の催しに参加をした。茶道や絵手紙、放課後の算数補習教室等、地域人材を活用した学習を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> 今年度も継続していく。特に算数補習教室の講師については、高学年での図形指導のゲストティーチャーを来年度も依頼する。
	最新の学校教育情報を提供する。	<ul style="list-style-type: none"> ・学校メール・学校ホームページによる最新情報の発信及び、学校・学年・学級・専科・研究から通信を定期的に発行する。 	<ul style="list-style-type: none"> 4 教職員の取組評価がA 3 教職員の取組評価がB 2 教職員の取組評価がC 1 教職員の取組評価がD 	3	<ul style="list-style-type: none"> 4 保護者の満足度の評価A 3 保護者の満足度の評価B 2 保護者の満足度の評価C 1 保護者の満足度の評価D 	3	<ul style="list-style-type: none"> ホームページ担当者を複数体制にしたことにより、年間130回の更新を行うことができた。 	<ul style="list-style-type: none"> 今年度の体制を来年度も維持できるように、ホームページの更新方法についての引き継ぎを確実に行う。 	